

# プログラミング実習 レポートの作成要領

2018-07-01

## 1 作成における注意

以下の指示とサンプルに従って作成すること。

- 全ページを A4, 縦とすること。
- 全 ページ上部に課題回数, 学籍番号, 氏名を明記すること。
- 全ページにページ番号を, 「3 / 7」のように, ページ数とページ総数の両者が分かるように記載すること。
- ソースコードと実行結果をこの順で載せること。  
ソースコードと実行結果に用いる字体として 等幅フォント を用いること。
- 実行結果として, コンパイル (`cc -o **** *.c`), 実行 (`./****`), 出力される実行結果の順となるように, 一連の操作の出力を記述すること。

注意: 画面に表示されている内容をそのままコピー&ペーストすること, それらを編集しないこと。

注意: プログラムの出力がもうこれ以上無いことを明示するために, プログラムの実行後に表れるプロンプトも回答に含めること。

## レポートのサンプル

プログラミング実習 IB -レポート課題 (第 10 回) - 学籍番号: 2010xxxxx 氏名: 筑波 太郎

課題 10-1

作成したプログラムのソースコード

今回作成した read-reverse.c を以下に示す。

```
read-reverse.c
#include <stdio.h>

int main(void) {
    :
    :
    return 0;
}
```

プログラムの実行結果

read-reverse.c をコンパイルした結果、および、このプログラムの実行結果を以下に示す。

```
実行結果
[s10xxxxx@eams kadai10]$ cc -o read-reverse read-reverse.c
[s10xxxxx@eams kadai10]$ ./read-reverse
:
:
[s10xxxxx@eams kadai10]$
```

課題 10-2

作成したプログラムのソースコード

今回作成した search.c を以下に示す。

```
search.c
#include <stdio.h>
:
:
:
```

作成したプログラムの実行結果

search.c をコンパイルした結果、および、このプログラムの実行結果を以下に示す。

1/4

全ページ上部に課題回数, 学籍番号, 氏名を明記すること.

プログラムの出力がもう無いことを明示するために, プログラムの実行後に表れるプロンプトも解答に含める.

画面に表示されている内容をそのままコピー&ペーストすること, それらを編集しないこと.

全ページにページ番号を, 「3 / 7」のように, ページ数とページ総数の両者が分かるように記載すること.